

# 夏の本 ～5, 6年生へ～

八千代市立図書館

## 時計坂の家

高楼方子／著 千葉史子／絵 リブリオ出版 [913 タ]

フー子は夏休みに、祖父の家がある<sup>みきわだて</sup>汀館へ行くことになります。祖父の家で、階段の途中に、窓があるドアを見つけます。不思議に思って窓をのぞくと、庭園のような緑の<sup>こみち</sup>小径が続いていました。そこは、とても不思議で、心うばわれるほど綺麗な景色だったので、フー子は中に入ってみることにしました。でもこの庭園には、大きな秘密があって……。



## 指ぬきの夏

エリザベス・エンライト／作 谷口由美子／訳 岩波書店 [933 エ]

ある暑い夏の日、ガーネットは兄のジェイと川遊びをして、銀の指ぬきを見つけました。指ぬきを拾ってから、<sup>せっかいろ</sup>石灰炉へ行ったり、不思議な少年・エリックに出会ったり、楽しいことがたくさん起こるようになります。退屈に過ごしていたガーネットにとって、わくわくが止まらない夏が始まりました。



## ナゲキバト

ラリー・パークダル／著 片岡しのぶ／訳 あすなろ書房 [933 バ]

両親を事故で亡くしたハニバルは、祖父であるポップの元に引き取られました。ポップはとても話上手で、ハニバルをいつも楽しませてくれます。

ある日、狩りにあこがれていたハニバルは、ポップに嘘についてナゲキバトを撃ち殺してしまいます。ところがそれは、ハニバルが想像していたような楽しいことではありませんでした。



## 帰命寺横丁の夏

柏葉幸子／作 佐竹美保／絵 講談社 [913 カ]

小学校5年生のカズは、明け方に真っ白い着物を着た女の子を目撃します。その女の子はあかりと言って、帰命寺から生き返った幽霊だったのです。どうして生き返ったのか、やりたいことがあったのか、カズとあかりは、手がかりを探します。そして一冊の物語を見つけました。



## 海辺の宝もの

ヘレン・ブッシュ／著 鳥見真生／訳 佐竹美保／画 あすなろ書房 [289 ア]

メアリーは友だちと遊ぶことが嫌いな、ちょっと気が強い女の子。そんなメアリーは楽しみにしていることがあります。それは毎週日曜日、とうさんと兄のジョセフと一緒に、海岸に落ちてる変わり石を探すこと。次の日曜日にも三人で変わり石を探そうと海岸に来ましたが、メアリーはとうさんの様子がおかしいことに気づきます。



美乃里の夏 藤巻史絵／作 長新太／画 福音館書店 [913 フ]

美乃里は、<sup>せんとう</sup>銭湯でおばあちゃんの背中を洗ったことがきっかけで、一緒に来ていた<sup>みのり</sup>実と仲良くなります。ふたりは、浴槽の後ろに描かれてある絵が見たくて、銭湯で掃除をすることにします。銭湯の番台をしている怖い木島さんとご飯を食べたり、豆腐作りをしたり、とても楽しい日々を過ごしていました。けれどもある日、突然実はいなくなり、銭湯も閉めることになってしまいます。



## ～他にも、夏の本～

- ・魔女がいっぱい ロアルド・ダール／作 清水達也／訳 鶴見敏／訳  
クエンティン・ブレイク／絵 評論社 [933 タ]
- ・空とぶベッドと魔法のほうき  
メアリー・ノートン／作 猪熊葉子／訳 岩波書店 [933 ノ]